

(公財)京都市障害者スポーツ協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------------	--------------------------------

基本事項

所管局課	保健福祉局障害保健福祉推進室	本市出えん金	25,000 千円
基本財産/資本金	25,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	検討中	目標年度	検討中
-----	-----	------	-----

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	検討中
財務面	検討中
組織面	検討中
その他	検討中

当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>業務面では、両施設とも、人気の高い教室・講座等の回数を増加させるなど、利用者のニーズを反映した事業展開や、積極的な周知活動により、施設利用者の増加に努めている。財務面では、単年度黒字を維持しており、健全な財務状況にある。光熱水費等の支出増が見込まれており、今後も気を緩めることなく支出の削減に努めていく。組織面では、職員の更なる資質向上に努めていく。</p>
-----	--

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	<p>京都市障害者スポーツセンターと京都市障害者教養文化・体育会館が共に指定管理期間の5年目を迎え、これまで実施してきた事業等を更に充実させるとともに、新規事業にも取り組み、また、両施設がこれまで以上に「車の両輪」として一体化を図り、京都市域全体の障害のある人の「健康の維持・増進」、「スポーツ活動」、「文化・レクリエーション活動」及び「ノーマライゼーション活動」の更なる推進に向け、積極的な取り組みを行った結果、両施設とも利用者数が大きく増加し、両施設あわせて過去最高の207,765人の人々に利用していただき、充実した1年であった。</p>
所管局(※)	<p>これまでの取組をさらに充実させるとともに、新たな取組を実施する等、工夫や努力により過去最高の利用者数を達成した。また、地域への積極的な職員の派遣や、パラリンピックの選手の発掘・育成事業、障害のある人もない人も分け隔てなく参加できる取組を推進する等、市民的な理解を進め、障害者スポーツの裾野を広げるような地道な取組みは、非常に評価できる。</p>
外郭団体総合調整会議(※)	<p>総じて設定した目標を達成するなど安定した運営を続けており、今後も引き続き障害者スポーツ分野への貢献を続けて欲しい。</p>

(公財)京都市障害者スポーツ協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

(1)業務に関する取組

目標1「施設利用者の拡大(障害者スポーツセンター)」	
中期経営計画 における取組	—
当年度目標	文化事業や新しい事業の実施について積極的に取り組むとともに、施設利用の効率化を図り、年間利用者を増加させる。
当年度結果 (※)	障害のある人とない人が共に参加できる教室等の事業を積極的に推進し、更なるノーマライゼーションの促進に取り組むとともに、パラリンピックで正式競技として実施される種目の大会や教室の継続的な実施に加え、新たに体験会を実施し、パラリンピックの出場につながるような選手の発掘・育成に努めた結果、年間利用者数が過去最高であった平成25年度を上回った。今後も引き続き、常に利用者の目線に立った施設運営、事業の実施等を心掛け、障害のある人とない人が共に交流できる「温かみのある楽しい施設」を目指してサービスの向上に努めていく。

指標①	施設総利用者数 (単位：人)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度			平成28年度	平成29年度
	—		—			—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	170,000	—	169,406	170,000	—	176,552	

指標②	教室・講習会等の事業数 (単位：事業)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度			平成28年度	平成29年度
	—		—			—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	371	—	320	398	—	399	

指標③	教室・講習会等の参加者数 (単位：人)						
中期経営計画	平成26年度		平成27年度			平成28年度	平成29年度
	—		—			—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—
	24,400	—	24,936	25,000	—	27,288	

(公財)京都市障害者スポーツ協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	------------------------

目標2「施設利用者の拡大(障害者教養文化・体育会館)」	
中期経営計画 における取組	—
当年度目標	文化事業や新しい事業の実施について積極的に取り組むとともに、施設の整備等により、年間利用者を増加させる。
当年度結果 (※)	障害者スポーツセンターで長年培ってきたノウハウを最大限に生かし、多種多様な事業を実施した結果、「障害のある人及び介助者、ボランティア」の利用者数が平成26年度と比較して31.2%増と指定管理開始以来、最高の利用者数となった。また「スプリングフェスティバル」を新規事業として開催し、これまで体育会館で実施した事業及び今後予定している事業を、障害のある人もない人も共に体験していただき、体育会館の認知度を大いに高めることができた。

指標①	施設総利用者数					(単位：人)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—		—		—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	24,000	—	27,888	28,000	—	31,213

指標②	障害のある人の利用割合					(単位：%)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—		—		—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	50	—	36	50	—	40

指標③	教室・講習会等の事業数					(単位：事業)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—		—		—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	178	—	167	224	—	224

指標④	教室・講習会等の参加者数					(単位：人)
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—		—		—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	5,706	—	5,822	6,200	—	6,627

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度			平成27年度			備考欄
	予算	見込	実績(※)	予算	見込	実績(※)	
経常収益	240,368	—	240,883	240,853	—	246,894	
経常費用	243,446	—	237,553	245,683	—	232,145	
当期経常増減額	△ 3,078	—	3,329	△ 4,830	—	14,749	
当期正味財産増減額	△ 3,251	—	4,143	△ 259	—	14,488	
資産合計	—	—	280,430	—	—	283,525	
負債合計	—	—	45,493	—	—	34,100	
正味財産	—	—	234,937	—	—	249,425	
うち累積損益額	—	—	209,937	—	—	224,425	

目標「施設設備の適正な維持管理と計画的な修繕」

中期経営計画における取組	—
当年度目標	計画に基づき、必要額を積み立てる。
当年度結果(※)	固定資産の購入価格が予定価格より低かったことや購入時期を変更したこと等により、積立額が目標額より少なくなった。

指標	減価償却引当資産への積立額						(単位:千円)	
中期経営計画	平成26年度			平成27年度			平成28年度	平成29年度
		—	—	—	—	—	—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	4,271	—	4,381	6,142	—	5,020		

(3)組織に関する取組

目標「上級障害者スポーツ指導員資格の取得率向上」	
中期経営計画 における取組	—
当年度目標	インストラクターの上級障害者スポーツ指導員資格の取得率を向上させる。
当年度結果 (※)	当年度については、上級障害者スポーツ指導員の受講資格を有している者がいなかったため、前年度と同じ取得者数であった。なお、平成28年度からは中級障害者スポーツ指導員の取得率の向上に目標を変更している。

指標	上級障害者スポーツ指導員資格の取得者数				(単位：人)	
中期経営計画	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
	—		—		—	—
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	8	—	9	9	—	9